

百日咳の流行状況

感染症発生動向調査では、2017年まで定点把握として小児科定点医療機関から報告されてきました。2018年以降は全数把握となり、県内ではこれまで2019年の84人が過去最多となっています。

2024年第49週までの患者数は56人で、年齢別では10～14歳17人（30.4%）で最も多く、次いで5～9歳が14人（25.0%）、0歳8人（14.3%）、15～19歳3人（5.4%）、20～29歳3人（5.4%）の順となっております。

2024年第49週までの保健所別の患者届出数は、南部保健所が31人で最も多く、次いで那覇市保健所12人、中部保健所11人、北部保健所2人、宮古保健所0人、八重山保健所0人の順となっています。

表1：県内の年齢階級別届出数（2024年第49週時点）

年齢群	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
患者数	8	2	14	17	3	3	5	0	2	1	1	56
(%)	(14.3)	(3.6)	(25.0)	(30.4)	(5.4)	(5.4)	(8.9)	(0.0)	(3.6)	(1.8)	(1.8)	(100)

表2：県内及び全国の患者届出数（2018年以降、2024年第49週時点）

年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
県	患者数	39	84	22	5	2	10	56
保健所	北部	0	1	0	2	0	1	2
	中部	8	46	11	1	1	0	11
	南部	7	13	2	0	1	6	31
	宮古	3	3	3	0	0	0	0
	八重山	0	2	1	0	0	1	0
	那覇市	21	19	5	2	0	2	12
全国	患者数	12,115	16,845	2,819	707	491	1,000	3,509

図1：県内の患者届出状況（2018年以降、2024年第49週時点）

